

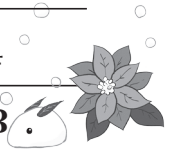
ASUKU ASK



12

2024

No.433



ひだまり館へ行ってきました

10月の広報委員会は名古屋センターの会議室を飛び出して、おかざきひだまり館で開催しました。

7/24にオープンしたひだまり館は、白を基調とした明るくおしゃれな雰囲気、キッズスペースもあり、小さなお子さんを連れた組合員が遊びに来ていました。

1階の「Cafeつむぎのおか」ではカフェだけではなく、いろいろなイベントを企画しています。

例えばオレンジカフェ(認知症カフェ)は認知症の人とその家族が気軽に立ち寄り、地域の住民、介護や医療の専門職などつながって認知症についての理解を深める場となっています。

子どもから大人までみんなで楽しく遊べる**カードゲーム**の日や、みんなでワイワイ楽しく作業する**ミシンと手芸カフェ**、子育て中の人や子育てを卒業した人がみんなで子どもを見守る、**つむぎっ子ひろば**。岡崎市職員を講師に迎えた**出前講座**、金融のプロによる**マネー講座**もあり、企画は多岐にわたります。ぜひ遊びに来てね!!



▲ランチのおにぎりは具が選べます

“ワーカーズ・コレクティブ つむぎのおか”とは?

居場所事業としてのコミュニティカフェ「Cafeつむぎのおか」の運営や単協からの委託事業として、ステーション受取業務、事務処理業務を行なっています。



▲広報委員会メンバーでランチをいただきました



▲ステーション受取とレンタルBOX



@TUMUGINO_OKA

▲つむぎのおかの営業情報はこちらから

contents

P1 ひだまり館へ行ってきました

P2 JAひまわり施設見学in音羽

P3 シャボン玉フォーラムinひょうご

P4 行ってきました!
穴水町仮設住宅への訪問支援活動

JAひまわり 施設見学 in 音羽

9/22

音羽米の生産者・こだわり農場
すずきでの、お米の収穫体験を企
画しました。この企画は、春の田植
え体験との連続企画でした。しか
し前夜に雨が降ってしまい、残念
ながら稲刈りをすることができま
せんでした。代わりに施設などの
見学となり、11家族36人の参加
がありました。

(消費担当理事 堀 美奈子)



◀大切に育てたお米が実りました



▶コンバイン試乗体験

稲刈りの代わりに、コンバインや
トラクター、乾燥施設などを説明
付きで見学しました。最新式のコン
バインは、お米だけでなく大豆など
の刈り取りもできるとのことで、参
加者はその性能に驚いていました。

次は、カントリーエレベーターへ。
大きな施設・倉庫で、施設にはたく
さんの農家の方が収穫した米を運
んできて、ここで乾燥。その後、温
度管理された倉庫でお米を保管し
ます。



◀生産者から今年の様
子を聞きました



▶試食風景



▲カントリーエレベーター内の倉庫に
米袋が積みあげられています



◀高いところまで米袋を積める特殊な
フォークリフトがありました

見学の後はお待ちかねの新米試
食と豚汁の昼食。おいしく食べて、
たくさん炊いたご飯がすっかりな
くなりました。

実際に現地に行って田んぼなど
を見るのはとてもいい経験です。
次こそは稲刈り体験ができるとい
いなと思いました。



こなこと★ ★ やってます けやき エリア

けやきエリアでは、月1回開催し
ている企画が3つあります。

1つ目は、配達スタート時から
30年続いている大林 Коми会。料理
だけでなく、エコロ講座やライフ
プラン講座なども開催しています。

2つ目は3年前に始まった、堤コ
ミの「夕食一緒に作る会」です。
テーマ食材を決めてみんなで4~5
品作って夕食用に持ち帰ります。

そして3つ目は、経営委員以外の
意見を気軽に聞ける場として豊田
センターで開催している「けやき

会」です。

それぞれに特徴があり、コミに
関係なく参加できるのでつながり
ができ、他の企画に参加する組合
員も増えました。

これからも組合員の輪が広がる
ように楽しく続けていきたいです。



▶大林コミの椅子ヨガ

すっきり
気持ちいい！

トピックス

10月1日 32名が参加し、
クリスマス正月用品試食会に
先立ち、リーダー層向けに生
産者交流会を開催。市販品と
の違い、原価積上げ方式、許
容添加物の話等、掘りさげた
話を聴くことが出来ました。



◀こめや食品の川崎さん(右)
和高スバイスの井上さん

シャボン玉フォーラム in びょうご

シャボン玉フォーラムは次世代にきれいな水と豊かな自然を残していくため、またせっけんの使い手を増やしていくために、毎年各地のせっけんネットワーク会員団体が開催しています。愛知から3人が参加しました。

今日の一歩で未来が変わる

1日目は京都大学教授 おくちたくお 奥地拓生さんの基調講演。鉱物の研究の観点から、水の惑星といわれる地球を見てみるというとても興味深いお話でした。中でも六甲山の花崗岩に含まれるミネラルが、おいしい水を作っていること、その恩恵で酒造りや、漁業が発展したことなどを学びました。

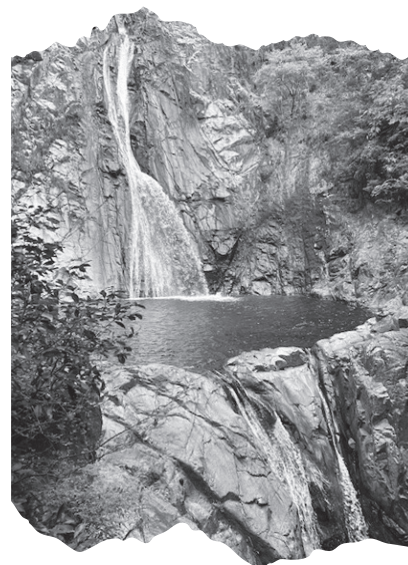
2日目に参加した分科会では人間が健康に生きるためには、自然環境を守っていくことが大切であるという話を聞きました。今私たちができることで未来が変わる。せっけん運動をもっと広めていこうと思います。

あるがままの自然の中にある発電所

地域に資する「でんき」として、出会いと想いがつながり、発電所ごとに「ものがたり」がある!といったお話がとても印象に残りました。



▲参加した西尾渉(職員)、土肥美穂(副理事長)、墨宏美(環境委員) 阪神・淡路大震災から29年後の神戸の街並みの前で



▲新神戸駅から徒歩15分の布引の滝。滝のまわりが花崗岩



▲パネルを水面に浮かべた平池水上太陽光発電所

土壌が大切

植物が土壌の細菌と共生関係にあるように人間も腸内の細菌と共生しています。「人も地球も健康であるためには土作りを大事にしていくこと」が自分の中でより明確になりました。この経験を多くの場で伝えていければと思います。

※参加者の感想から抜粋しました。

地域に資する「でんき」として、出会いと想いがつながり、発電所ごとに「ものがたり」がある!といったお話がとても印象に残りました。

(監事 青山木綿子)



日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)が今年のノーベル平和賞に選ばれた。80年前から核兵器の廃絶、二度と使用されないようにと訴え草の根的活動を続けてきたことが評価された。世界では戦争が止まらず、今だからこそその受賞だと思う▼生活クラブ運動も然り。疑わしきものは食べたくないと言いつつ、社会にないものは考え、作り出してきた。そんな生活クラブを誇りに思う。消費材には物語がある。私は消費材を食べ続けたい、子や孫へ繋げていきたいの思いから活動してきた▼今年は能登地震、気候危機による猛暑や豪雨の災害が続いた。何が起るかわからない今こそ暮らしを見つめ、健康に生きていくためにも必要なことは行っていきたい。

10月事業報告

組合員数	加入	脱退
11,091人	113人	-100人
出資金	1人当り出資金	
1,331,775 千円	119,981 円	
供給高	1人当り供給高	
226,120 千円	21,591 円	

▼共済加入件数

ハグくみ	CO・OP共済	エコロ共済
1,317 件	4,836 件	8,579 件

生活クラブでんき契約者

累計446件(10月)
再エネ100%プラン 20件
時間帯別プラン 13件



生活クラブ
でんき

今月のリユース率

ビン 回収率(10月)
900mlびん...78.6%
500mlびん...75.0%
Rびん全体 ...77.0%



グリーン
システム
30th
Reuse & Recycle

行ってきました！ 10/12~10/13 穴水町仮設住宅への訪問支援活動

愛知県内5生協の連携を

大きな災害が発生した時、生協がどうふるまうのかを考え、昨年より認定NPO法人レスキューストックヤードと愛知県内5生協で打ち合わせを重ねてきました。今年1月に合同の防災イベントを開催する予定でしたが、能登半島地震の発生によりこのイベントは延期に。しかしご縁が続き、8月には「穴水町被災児童応援企画」として、穴水町の子もたちを名古屋に招待してBBQを囲みました。

いざ「穴水町」の拠点へ！

今回支援を行ったのは、穴水陸上競技場に180戸建設された「由比ヶ丘団地」。その中にレスキューストックヤードの拠点『ボラまち亭』があり、「変わりゆく住まい、人間関係、暮らしぶりの中で、孤立や孤独に陥る方々や災害関連死を何としてでも防ぎたい」との

思いで運営されています。そこで10/13に炊き出しとサロンを他生協とともに開催しました。



▲サロンで現地の方々のお話に耳を傾けます(蛭原さん)

感じたことこれからのこと

地震から10か月たった今でも、倒壊している家、傾いている家などがそのままとなっています。震災の爪痕を目の当たりにし、復興にはまだまだ時間がかかることを肌で感じました。また、被災者の方からさまざま話を生で聞くことができ、貴重な体験となりました。今回の支援活動には生活クラブ組合員からのカンパ金も使用されています。延期している防災イベントは1月に開催する予定です。

(組織課長 井手 正和)

▶穴水町では町の建物の約半数が半壊以上の被害に



愛知県の5つの生協による
あったかごはん食堂in穴水

日時：10/13(日)
サロン⇒10:00~13:00
炊き出し⇒11:30~13:00
場所：由比ヶ丘団地内
ボラまち亭 交流スペース

◆ふれあいサロン
※サロンのオープンは10時です

◆炊き出しメニュー
※炊き出しのオープンは11:30です

5生協合同で開催



▶必死で調理しています(井手さん)



左から井手さんと蛭原さん
「遠くからありがとう」「美味しかったよ」と言われて疲れも吹っ飛びました



▲5生協の皆さん お疲れ様でした!

information

●ワーコレ・フェスタ

2/16(日)10:30~15:30
名古屋センター
生活クラブと一緒にすすめる「まちづくり」において、ワーカーズ・コレクティブが担う役割と位置づけを学ぶ

担当:本部(井手)052-899-0770

●楽しいおいしい展示会

2/22(土)・2/23(日)
10:00~16:00
名古屋センター

担当:本部(中西)052-899-0770

理事会報告

第5回定例理事会報告

10/24理事監事16名出席

◆討議・討議決定事項

- ・2025年度「活動計画策定資料」
- ・単協専門委員会のあり方整理
- ・2025年度拡大計画案の決定
- ・高齢者支援策についての検討
- ・能登半島地震および能登半島豪雨災害への義援金拠出他

◆報告承認・報告確認事項

- ・NGO共同声明「停戦を、今すぐに。」賛同について
- ・「高等教育費の負担軽減を！」賛同について他

編集後記

- ひだまり館のカフェでランチ。家庭的なキッチンで、ワーカーズさんが作ったおむすびは流行りのふんわりタイプでした。(N)
- どうも同じ話をすることが増えたらしい。指摘した方がいいの？と息子に聞かれたので、3回目になったら教えてとお願いしていた。(楳)
- ワケあって名古屋と大阪を行ったり来たりの生活になった。大阪でも生活クラブに出会い、同じものでつながっている安心感に救われている。(H)